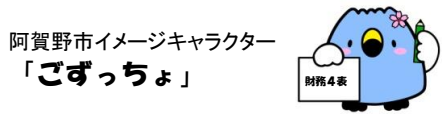


令和5年度 阿賀野市の財務書類(概要版)



令和5年度決算について、統一的な基準に基づく財務書類を作成しました。

※「一般会計等財務書類」は一般会計のみ、「全体財務書類」は一般会計等に特別会計・企業会計など地方公営事業会計を加えたもの、「連結財務書類」は全会計に一部事務組合など市の関連団体を加えたものになります。

貸借対照表(BS)

令和5年度末(令和6年3月31日)時点における資産と、その資産形成に必要な財源である負債及び純資産を表したものです。資産に対する将来世代の負担(負債)と過去及び現役世代の負担(純資産)の割合を把握することができます。一般会計等では、資産は約644億円となっており、そのうち有形固定資産が81.2%を占め、約523億円となっています。負債は約234億円となっており、資産のうち36.3%が将来世代の負担であることを表しています。純資産は約410億円となっており、資産のうち63.7%が過去及び現役世代の負担であることを表しています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
1. 固定資産	59,985	113,993	117,077	1. 固定負債	21,156	66,858	67,787
(1) 有形固定資産	52,300	104,300	107,289	(1) 地方債	17,329	41,102	41,986
① 事業用資産	28,151	33,235	36,217	(2) 退職手当引当金	3,827	4,284	4,328
② インフラ資産	23,845	67,447	67,453	(3) その他	0	21,472	21,472
③ 物品	304	3,619	3,619	2. 流動負債	2,248	4,977	5,014
(2) 無形固定資産	96	1,327	1,328	(1) 1年内償還予定	1,849	3,637	3,668
(3) 投資その他資産	7,589	8,366	8,460	地方債			
2. 流動資産	4,401	7,116	7,417	(2) 賞与等引当金	262	296	302
(1) 現金預金	1,375	3,869	3,957	(3) その他	137	1,044	1,044
(2) 基金	2,988	2,988	3,200	負債合計	23,404	71,834	72,801
(3) その他	38	259	260	純資産合計	40,982	49,275	51,692
資産合計	64,386	121,109	124,494	負債・純資産合計	64,386	121,109	124,494

行政コスト計算書(PL)

令和5年度中の資産形成に結びつかない行政活動に要した費用と、使用料等の収入の関係を表したものです。官庁会計では捕捉できなかった現金支出を伴わない費用(減価償却費など)も計上しています。一般会計等では、費用から収入を除いた純行政コストは約208億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
経常費用	21,620	31,818	34,716
1. 業務費用	10,905	14,633	14,775
(1) 人件費	3,546	3,940	3,669
(2) 物件費等	7,116	10,007	10,371
(3) その他業務費用	243	686	734
2. 移転費用	10,716	17,185	19,942
経常収益	787	2,352	2,444
純経常行政コスト	20,833	29,466	32,273
臨時損失	2	4	5
臨時利益	1	22	22
純行政コスト	20,834	29,448	32,256

純資産変動計算書(NW)

令和5年度中の純資産の変動要因を表したものです。純資産の増加は現役世代の負担によって将来世代の負担が減少したことを表し、純資産の減少は反対に将来世代の負担が増加したことを表します。一般会計等では、純資産は約2億円増加し、本年度末残高は約410億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	40,769	48,791	49,696
1. 純行政コスト(△)	△ 20,834	△ 29,448	△ 32,256
2. 財源	20,029	28,977	33,219
(1) 税収等	14,533	18,383	19,942
(2) 国県等補助金	5,497	10,594	13,277
本年度差額	△ 804	△ 471	963
その他	1,017	956	1,033
(無償所管換等など)			
本年度純資産変動額	213	484	1,997
本年度末純資産残高	40,982	49,275	51,692

資金収支計算書(CF)

令和5年度中の資金の動きを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの区分で表したものです。なお、歳計外現金は本表の欄外に表示します。

一般会計等では、資金は約1億円減少し、歳計外現金を合わせた本年度末現金預金残高は約14億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	990	3,726	4,550
投資活動収支	△ 532	△ 1,931	△ 3,236
財務活動収支	△ 559	△ 1,386	△ 900
本年度資金収支額	△ 101	409	413
前年度末資金残高	1,361	3,345	3,425
本年度末資金残高	1,260	3,754	3,841

本年度末歳計外現金残高	115	115	116
本年度末現金預金残高	1,375	3,869	3,957

※表中、表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

●市民1人あたりで計算してみると…

※ 住民基本台帳人口: 39,873 人(令和6年1月1日時点)

貸借対照表(BS)

(単位:千円)

	一般	全体	連結		一般	全体	連結
資産	1,615	3,037	3,122	負債	587	1,802	1,826
				純資産	1,028	1,236	1,296
資産合計	1,615	3,037	3,122	負債・純資産合計	1,615	3,037	3,122

行政コスト計算書(PL)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
経常費用	542	798	871
経常収益	20	59	61
純経常行政コスト	522	739	809
純行政コスト	523	739	809

純資産変動計算書(NW)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
前年度末純資産残高	1,022	1,224	1,246
本年度純資産変動額	5	12	50
本年度末純資産残高	1,028	1,236	1,296

一般会計等では…

- ・貸借対照表
1人あたりの資産は約162万円、負債は約59万円となっています。
- ・行政コスト計算書
1人あたりの純行政コストは約52万円となっています。
- ・純資産変動計算書
1人あたりの純資産は約103万円となっています。
- ・資金収支計算書
1人あたりの現金預金は約3万円となっています。

資金収支計算書(CF)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
本年度資金収支額	△ 3	10	10
前年度末資金残高	34	84	86
本年度末資金残高	32	94	96
本年度末現金預金残高	34	97	99